

学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①重点研究のテーマは「主体的に学び、自分の考えをもち、伝え合う子どもをめざして」とし、情報手段を有効に活用して自分の思いや考えを豊かに表現できるような子の育成を目指す授業づくりに励む。②漢字、計算のスキルアップや広範囲の知識を拡げるため、朝1Mの読書タイムやスキルタイムの時間を設定する。
担当	重点研推進・C部会

学力向上に関わる本校の状況

(1) 学力に関わる児童生徒の実態
 昨年度の横浜市学力・学習状況調査の結果を見ると、全体的に、横浜市平均に近い数値を示している。重点研究として国語の授業力向上に取り組んだ成果が出てきていると考えられる。しかし、全学年を通し、学習意識調査・生活意識調査の数値がやや低い傾向がみられる。自分の学習の取組に自信がもてなかったり、主体的に学ぶ意識がやや低かったりする児童がいると考えられる。

令和3年度

(2) 昨年度まで、「主体的に学び、自分の考えをもち、伝え合う子どもを目指して」～言語活動を通して、自分の思いや考えを豊かに表現する子の育成～を研究主題として、国語科を中心に研究に取り組んできた。また、朝の時間に読書習慣をつけるために「読書タイム」を、基本的な計算の力を高めるために「スキルタイム」を実施してきた。

今年度の目標

「主体的に学び、自分の考えをもち、伝え合う子どもを目指して」
 ～情報手段を効果的に活用して、自分の思いや考えを豊かに表現する子の育成を目指した授業づくり～

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期	<<重点研究の取組>> ・情報手段を効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。 ・子どもたちが互いに学び合う学習集団作りをする。 ・討論や話し合いなどの対話的な学びの重視をする。 ・問題解決的な学習の重視をする。 ・教科横断型の指導を目指し、学びを創る態度の育成をする。 ・子ども自身で学習の調整をし、主体的に学んでいく力の育成をする。 ・子どもが主体的に学ぶ姿、自分の言葉で、表現できる姿を目指して、研究を通して、校内で共通理解を進め、学校として育てる子ども像を明確にする。 ・指導の手立てなどを職員で共有し、互いの授業力向上を目指す。 <<C部会・学力向上の取組>> ・本を読む習慣を付けることで様々な文章に親しみ、豊かな心を育むため、火曜・木曜の朝の時間に「読書タイム」を設定する。 ・基礎・基本を定着させていくため、金曜の朝に「スキルタイム」を設定する。
下半期	<<重点研究の取組>> ・情報手段を効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。 ・子どもたちが互いに学び合う学習集団作りをする。 ・討論や話し合いなどの対話的な学びの重視をする。 ・問題解決的な学習の重視をする。 ・教科横断型の指導を目指し、学びを創る態度の育成をする。 ・子ども自身で学習の調整をし、主体的に学んでいく力の育成をする。 ・子どもが主体的に学ぶ姿、自分の言葉で、表現できる姿を目指して、研究を通して、校内で共通理解を進め、学校として育てる子ども像を明確にする。 ・指導の手立てなどを職員で共有し、互いの授業力向上を目指す。 <<C部会・学力向上の取組>> ・本を読む習慣を付けることで様々な文章に親しみ、豊かな心を育むため、火曜・木曜の朝の時間に「読書タイム」を設定する。 ・基礎・基本を定着させていくため、金曜の朝に「スキルタイム」を設定する。